

革新事業採択の経緯について

1 革新事業創造戦略の概要

- 愛知県は、社会課題の解決と地域の活性化を図る官民連携プロジェクトの創出に向けた取組の枠組みを示す「革新事業創造戦略」を 2022 年 12 月に策定。「Aichi-Startup 戦略」と両輪で、愛知発のイノベーションを創出し、国際イノベーション都市への飛躍を目指している。
- 「革新事業創造戦略」は、「あいちビジョン 2030」の重要政策分野を踏まえ、7 つの重点政策分野（①健康長寿、②農林水産業、③防災・危機管理、④文化芸術、⑤スポーツ、⑥GX、⑦DX）を設定し、取組の方向性を示している。
- 愛知県は、「革新事業創造戦略」に基づき、産学官金の多様な主体から Web 上で提案を受け付ける「革新事業創造提案プラットフォーム（愛称：A-IDEA）」を運営している。
- 有識者で構成される「革新事業創造戦略会議」を中心に、A-IDEA から優れた提案を抽出し、提案の具体化に向けてワーキンググループ等で検討する。

※ 株式会社中日新聞社の提案は、重点政策分野のうち、スポーツと DX に関係。

<推進体制>



2 第6回革新事業創造戦略会議の選定・審査結果

- 2023年10月20日（金）までに73件のアイデア提案を受付。うち8件（※1）が審査を希望。
- 事務局において、書類審査を実施し、第6回革新事業創造戦略会議で審査する案件を1件抽出（※2）。
- 2023年11月27日（月）の第6回革新事業創造戦略会議における審査の結果、株式会社中日新聞社の提案が採択に至った。

（※1）分野の内訳（重複含む）

【健康長寿】3件、【農林水産業】4件【防災・危機管理】1件、【文化芸術】1件、【スポーツ】2件、【GX】3件、【DX】2件、【その他】3件

（※2）採点対象項目についての記載が無いなど、事務局において評価が不可能である案件や、採点結果が一定点数を下回る提案を除外。

<評価結果>

- 戦略会議では、2024年STATION Ai オープン、2025年愛知国際アリーナ開業、2026年アジア・アジアパラ競技大会開催といったチャンスを活かした提案であると同時に、同大会を一過性のイベントで終わらせるのではなく、盛り上がりを県内のスポーツ振興に効果的に繋げていける内容であることから、必要性が高いと評価。
- 愛知県としても、提案者のマスメディアとしての強みを活かして、スポーツチームやスポーツ大会とのリレーションシップ、県内外への情報発信などが期待できると評価。また、「愛知県スポーツ推進計画2023-2027」※のKPI達成を加速させる取組である点も評価。

※ スポーツ基本法第10条第1項の規定に基づき、本県のスポーツ振興に関する中長期的な展望と、総合的な施策を示すもの。



あいちスポーツイノベーションプロジェクト
 ～スポーツDXによる新レガシー共創事業“AiSIA”～ として取り組んでいく

<革新事業創造戦略会議 構成員>

	属性	団体名等	職名	氏名
学 識 者	地域経済	中京大学経済学部	客員教授	(座長) 内田 俊宏
	イノベーション	名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部	教授	鬼頭 雅弘
	都市政策	南山大学総合政策学部 総合政策学科	教授	石川 良文
イノベーション 関係者		STATION Ai 株式会社	代表取締役 CEO	佐橋 宏隆
		株式会社 LEO	代表取締役 CEO	粟生 万琴
経済界		(一社)中部経済連合会	イノベーション推進部長	山下 哲央
		名古屋商工会議所	産業振興部長	佐藤 航太
県		愛知県経済産業局	経済産業推進監	柴山 政明